

1 平成24年度事業概要

当財団は、マリンメッセ福岡、福岡国際センター及び福岡国際会議場の3施設を運営管理する法人として、福岡市が重点戦略として位置づけている「MICE誘致」を推進するため、大規模な学術会議、展示会等の誘致・開催支援を積極的に行うとともに、お客様のニーズを的確に把握し利用者の視点に立った安全・安心な施設づくりやサービスの提供に努めてきた。

平成24年度の各施設の利用率は、マリンメッセ福岡83.0%、福岡国際センター86.9%、福岡国際会議場70.7%で、各施設とも好調な利用率を維持し、マリンメッセ福岡及び福岡国際会議場は過去最高の利用率となった。入場者数は3施設合計で189万人を記録し、ウォーターフロントエリアの活性化及び福岡市の経済波及効果につながっている。

また、厳しい経済情勢が続く中、事業運営に当たっては、収入の確保や経費節減など効率的な経営により、収支状況は黒字を維持している。

今後とも、地域経済や学術・文化の振興に努め、利用率及び顧客満足度の向上を目指し、長期的・安定的な経営基盤の強化に向けた取り組みを進め、福岡市の目指す国際コンベンションシティづくりの推進に貢献する。

(1) コンベンション施設の利用促進

ア 大規模な催事の誘致

国際・国内会議、見本市・展示会並びに文化、スポーツ等各種催事について、各施設の特性及び福岡市の都市力を活かした誘致活動を行った。

平成24年度については、福岡市及び公益財団法人福岡観光コンベンションビューローと連携を図りながら開催支援を進め、「第32回国際泌尿器科学会総会」、「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡」及び「第51回ライオンズ東洋東南アジアフォーラムin福岡」など世界的に情報発信力の高い国際会議が開催された。

大規模な学術会議等の誘致については、数年先を見据えた誘致を行っており、平成26年度の「第61回日本臨床医学会学術集会」をはじめ、平成27年度の「アジア国際地盤工学会議」、平成28年度の「第39回日本眼科手術学会総会」など数多くの会議の開催が決定した。

また、アリーナ機能など多目的施設の特性を活かした誘致活動を積極的に展開した結果、平成25年度の「ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会」、平成26年度の「インターフード2014(仮称)」などの開催が決定した。

今後も、経済波及効果が高く、また情報発信力の高い大規模学術会議や展示会等の誘致を積極的に進めていく。

イ 展示会への支援

協催事業として、平成25年3月に「全国陶磁器フェアin福岡2013」を株式会社TVQ九州放送と実行委員会を組織し開催した。

また、平成24年6月には「第8回福岡インターナショナル・ギフトショー／第1回福岡国際ビューティー・ショー」の開催支援を行い展示会の定着化に努めた。

ウ 広報宣伝

福岡国際会議場の開業10周年を記念して、業界紙である見本市展示会通信に特集記事を掲載し、全国の主催者や業界関係者等に情報発信を行った。

またコンベンションゾーンとして、3施設に福岡サンパレスを含めた一体利用による複合利用の強みや利便性等を業界紙等でPRするとともに、総合パンフレットの全面的なリニューアルを行った。

さらに、国際会議場を中心に3施設の概要をよりビジュアルにわかりやすく紹介する簡易パンフレットを作成し、地元企業・団体や各種学校等に送付し、新たな需要の掘り起こしを行った。

(2) サービスの向上, 催事ノウハウの蓄積

お客様の視点に立った満足度の高いサービスを提供するため、年間を通して主催者及び来場者へのアンケートを実施し、その結果要望が多かったトイレサインの増設や休憩コーナーの椅子の買い替えなどを実施し利用しやすさに配慮した環境づくりに努めた。

さらに、大規模催事の際のタクシー、臨時バス利用者の混雑緩和について警備体制、バス・タクシープールにおける出入経路の見直しを行った。

また、催事内容のデータベース化を進め、催事ノウハウの蓄積を行うとともに主催者へ催事運営の適切なアドバイスを行うなどサービス提供に努めた。

(3) コンベンション施設の保守管理・改修事業

主催者や来場者などのお客様に気持ちよく満足して施設をご利用していただけるよう、利便性の向上及び安全性の維持向上を図るとともに、施設の経年劣化等に適切に対応するための保守・改修に努めた。

また、福岡国際センター及び福岡国際会議場前に長年の懸案であったバスシェルターの設置を西日本鉄道株式会社と協議を行い実現した。

ア マリンメッセ福岡

- ・舞台床塗装
- ・電気錠修理
- ・揚水ポンプ吐出管修理

(参考) 福岡市が実施した平成24年度の改修事業

- ・チタン屋根改修
- ・外壁改修(東面)
- ・空調機整備
- ・非常用発電機整備

イ 福岡国際センター

- ・屋外排水管改修
- ・暗転幕取替
- ・監視カメラ増設

ウ 福岡国際会議場

- ・メイン・多目的ホールタイルカーペット取替
- ・外壁塗装
- ・可動壁・遮音壁インバータ交換
- ・空調機整備

(4) 各施設の利用状況

ア マリンメッセ福岡

既存催事の定着化を図るとともに、展示会・興行系催事等の誘致活動に積極的に努めた結果、興行系催事等をはじめとする新規催事の誘致・開催につながった。

年間利用日数は過去最高の278日で、83.0%の利用率となった。

○催事種目別利用状況（利用率83.0%）

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用の割合	
				日 数	入場者数
展示会	38 件	126 日	335,238 人	45.3 %	31.0 %
会議・集会	11 件	27 日	80,180 人	9.7 %	7.4 %
コンサート・興行	40 件	114 日	518,903 人	41.0 %	47.9 %
アマチュアスポーツ	1 件	11 日	148,808 人	4.0 %	13.7 %
合 計	90 件	278 日	1,083,129 人	100.0 %	100.0 %

※利用率=278日/335日

【主な催事】

名 称	開 催 日	入場者数
第22回西日本食品産業創造展2012	5月16日～18日	18,928人
第8回インターナショナル福岡ギフト・ショー2012 第1回福岡国際ビューティー・ショー2012	6月11日～13日	33,400人
平成24年度金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会	7月22日～30日	148,808人
2012ディズニー・オン・アイス「ミッキー・ミニーの プリンセス&ヒーロー」福岡公演	8月24日～27日	26,023人
モノづくりフェア2012	10月24日～26日	12,574人
2012ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビー フェスティバル福岡 フェアウェルパーティー	11月3日	2,100人
KAIZEN推進大会・マイスターズカップ	11月7日	3,000人
第51回ライオンズ東洋東南アジアフォーラムin福岡 (2施設利用/国際会議場)	11月9日	15,000人
博多じょうもんさん市場inマリンメッセ福岡	11月18日	25,000人
平成25年福岡市成人の日記念行事	25年1月14日	9,000人
平成24年度九州産業大学学位授与式	25年3月25日	3,500人
全国陶磁器フェアin福岡2013	25年3月20日～24日	38,080人

イ 福岡国際センター

既存催事の定着化を図るとともに、新規展示会等の誘致に努めた結果、展示会及び会議・集会等の増加により、利用日数は年間291日、利用率は86.9%と当初の目標(80%)を上回った。

○催事種目別利用状況 (利用率 86.9%)

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用の割合	
				日 数	入場者数
展示会	49 件	176 日	225,643 人	60.5 %	51.3 %
会議・集会	14 件	30 日	53,710 人	10.3 %	12.2 %
大相撲	1 件	36 日	68,000 人	12.4 %	15.4 %
コンサート・興行	6 件	19 日	44,179 人	6.5 %	10.0 %
アマチュアスポーツ	8 件	13 日	25,783 人	4.5 %	5.9 %
その他	12 件	17 日	22,926 人	5.8 %	5.2 %
合 計	90 件	291 日	440,241 人	100.0 %	100.0 %

※利用率=291日/335日

【主な催事】

名 称	開 催 日	入場者数
平成24年度九州大学入学式	4月4日	5,730人
第51回福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」前夜祭	5月2日	6,000人
平成24年全日本選抜柔道体重別選手権大会	5月12日～13日	6,000人
九州ビジネスショウ2012 九州エコフェア2012	6月20日～21日	19,000人
第19回九州チアリーディング選手権大会	6月24日	1,500人
第57回全国建具組合連合会・第46回全国建具展示会福岡大会	7月5日～8日	29,900人
2012国立ポリシヨイサーカス福岡公演	8月8日～13日	21,000人
第39回福岡マーチングフェスティバル	9月9日	5,000人
平成24年大相撲十一月場所	11月11日～24日	68,000人
第29回読売書法展 九州展	12月7日～9日	2,100人
福岡アジアコレクション2013SPRING/SUMMER	25年3月24日	7,446人
平成24年度九州大学学位記授与式	25年3月26日	5,100人

ウ 福岡国際会議場

一般会議や展示会などの既存催事の定着化を図るとともに、学会等の誘致による多目的ホールや各会議室などの利用増加により、利用実績室数は延べ5,685室で、利用率は70.7%となり過去最高の利用率となった。

○催事種目別利用状況（利用率70.7%）

区 分	利用件数	入場者数	区 分	利用実績室数	利用可能室数	利用率
国際会議・学会	12件	42,920人	多目的ホール	1,069室	1,340室	79.8%
学会（国内）	32件	56,255人	メインホール	249室	335室	74.3%
一般会議	871件	159,316人	国際会議室	274室	335室	81.8%
展示会	88件	40,887人	中小会議室	4,093室	6,030室	67.9%
コンサート・興行	36件	32,987人	合 計	5,685室	8,040室	70.7%
その他	37件	37,924人				
合 計	1,076件	370,289人				

※利用可能延室数＝24室×335日＝8,040室

※利用率＝5,685室（利用延室数）／8,040室（利用可能延室数）

【主な催事】

名 称	開 催 日	入場者数
第115回日本小児科学会学術集会	4月20日～22日	4,600人
第37回日本脳卒中学会総会	4月26日～28日	4,960人
第49回日本リハビリテーション医学会学術集会	5月31日～6月2日	3,100人
第32回国際泌尿器科学会総会 （2施設利用/国際センター）	9月27日～10月4日	3,000人
第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡 （2施設利用/国際センター）	10月12日～14日	2,600人
第65回日本胸部外科学会定期学術集会	10月17日～20日	3,000人
第67回日本大腸肛門病学会学術集会	11月16日～17日	3,000人
第21回 日本柔道整復接骨医学会学術大会	11月24日～25日	4,000人
第35回日本分子生物学会年会 （2施設利用/マリンメッセ）	12月11日～14日	20,150人
第85回日本生化学会大会 （2施設利用/マリンメッセ）	12月14日～16日	3,900人
第13回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会S I 2012	12月18日～20日	3,000人
第36回日本眼科手術学会総会 （2施設利用/マリンメッセ）	25年1月25日～27日	7,000人
第49回日本腹部救急医学会総会	25年3月13日～14日	3,500人
第86回日本薬理学会年会	25年3月21日～23日	3,000人